

| | |
|---------|---|
| 1.技 術 | 1.5 その他 |
| 2.事 業 名 | 1.5.4 令和元年度「随伴水含有有価金属類回収技術の評価試験」 |
| 3.キーワード | 随伴水処理、調査、金属回収、回収使用 |
| 4.目的 | <p>本事業は、随伴水に含まれる有価金属類(リチウム(Li)、マグネシウム(Mg)、カリウム(K)、バリウム(Ba)、ストロンチウム(Sr))、を回収するための安価かつ競争力の高い技術を確立し、総合的な有価金属類回収システムの構築に向けた検討をすることを目的とする。</p> |
| 5.内容、成果 | <p>令和元年度は、国内のガス随伴水を用いて RO 膜による濃縮試験を行うとともに、再委託先である千葉工業大学は、組成が異なる随伴水全般に適用可能な濃度線図の作成と反応晶析法による有価金属類回収法の検討、塩事業センターは、電気透析法を用いた随伴水の成分分離と有価金属類回収技術の開発に向けた検討を行い、これらの試験・検討を踏まえて有価物回収の総合システムの構築に向けた検討を行った。</p> <p>本財団は、9月下旬に RO 膜による随伴水の濃縮実験を実施し、中間報告を行った。千葉工業大学、塩事業センターでは、RO 膜濃縮水を用いて上述の検討を実施した。また、得られたデータをもとに総合的な有価金属類回収システムの構築のための検討会を1月下旬に実施し、全体をまとめて、報告書を作成し3月下旬に JOGMEC に提出した。</p> |
| 6.参照 | <p>本事業は、(独)石油天然ガス・金属鉱物資源機構(JOGMEC)からの委託事業として実施したものである。</p> |